



本事業は、SDGsの「17 パートナシップで目標を達成しよう」に資する取組です。

2024年10月18日（金）
愛知県経済産業局産業部
産業立地通商課国際業務企画グループ
担当 篠田、鈴木
内線 5296、5298
ダイヤル 052-954-6356

愛知県政策企画局
国際課渉外・交流グループ
担当 上窪、中根
内線 2256、2446
ダイヤル 052-954-6181

知事の中国渡航中の行事結果について

2024年10月17日（木）午前、知事は中華人民共和国広東省広州市において、トヨタ自動車^{こうきしゅうだん}が現地企業の広汽集^{こうき}団と設立した広汽トヨタ自動車有限会社を訪問しました。
午後には、東莞市^{とうかん}に移動し、深圳市に本社を置くIT企業華為技術^{ファーウェイ}有限公司の研究開発拠点であるファーウェイ溪流背坡村^{シリウベイボヴイレッジ}キャンパスを訪問しました。

1 広汽トヨタ自動車有限会社訪問（担当：産業立地通商課）

(1) 日時

2024年10月17日（木）午前10時5分から午前11時45分まで
（日本時間10月17日（木）午前11時5分から午後0時45分まで）

(2) 場所

広汽トヨタ自動車有限会社（広州市）

(3) 応対者

藤原寛行^{ふじわらひろゆき} 広汽トヨタ自動車有限会社 総経理
文大力^{うえんだり} 広汽トヨタ自動車有限会社 執行副総経理

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

大村知事は、広州市のトヨタ自動車の車両生産・販売拠点である広汽トヨタ自動車有限会社を訪問しました。

始めに、藤原総経理から広汽トヨタ自動車の事業概要の紹介がありました。同社は今年で設立から20年と、比較的若い会社であるものの、カムリやハイランダーなどを中心に5つの生産ラインで年間100万台という高い生産能力を持っていることや、「すべてはあなたの笑顔のために」を工場の使命に掲げ、部品仕入れ先の近接化を始めとした工場のレイアウトから工場内の自動化、販売店での販売効率向上のための工

夫など、生産から販売管理まで一貫した「トヨタ生産方式」にこだわった会社づくりをしていると説明し、工場内での部品の自動搬送や最新の塗装設備など世界でもトップレベルの高品質と生産性を誇っていることが紹介されました。

次に大村知事からは、今回の中国訪問は知事就任以来 13 回目で、広東省は 4 回目となることや、愛知県と広東省とは友好提携を締結しており、毎年高校生交流などを通して活発に交流を進めていると発言しました。そのうえで、「深圳で日本人学校の児童が刺殺された痛ましい事件については、深い悲しみを覚えている。昨日、広東省の王省長と面談した際には、多くの企業関係者、とりわけ子供たちの安全確保のための具体的な措置を申し入れた。王省長からは、広東省では、日本を始め外国人に対する安全確保に引き続き力を注いでいきたい、とのコメントをいただいた。」と発言しました。

また大村知事は、愛知県が注力する事業として、「2025 年 6 月に愛知県で開催される、国際的な産業展『AXIA EXPO 2025』において、アジア諸国の企業や都市・政府などに出展いただくための『アジアパビリオン』というブースを開設する予定であり、昨日、広東省にも出展を呼びかけた。中国企業にも声をかけており、广汽トヨタ自動車にも参加いただければありがたい。」と PR しました。

その後、同社の組立工場を視察しました。BEV、HV、ガソリン車の 3 車種の混流生産で年間 10 万台を生産する第 5 生産ラインでは、IoT やロボット、ビッグデータ、AI を取り入れた管理を行っており、EV 用バッテリーを車体の下から装着する工程を全てロボットが行っている様子や、ブレーキフルードを注入する工程のほか、組立工程に異常が無いかをモニターで見える化するなど、安心・安全な生産に最大限配慮する様々な取組を視察しました。

工場視察後の懇談では、主に自動運転車に関する話題が中心となり、大村知事からは、今週 15 日に北京を訪問した際に乗車した Pony. a i の自動運転車の走行が大変優れていたことや、昨日小鵬汽車を訪問した際に、ショールームで体感した展示車の最新の機能でこの価格が実現できるのかと非常に驚いたという感想を述べるとともに、愛知県では、2024 年 11 月から 2025 年 3 月まで、名古屋市内（名古屋駅付近～STATION Ai）で、今回北京で試乗したトヨタ自動車の車両と同じ車種を使用して、自動運転車両の定期運行を始めることを説明し、愛知県内及び中国国内における自動運転の推進に向けた取組について活発に意見を交わしました。

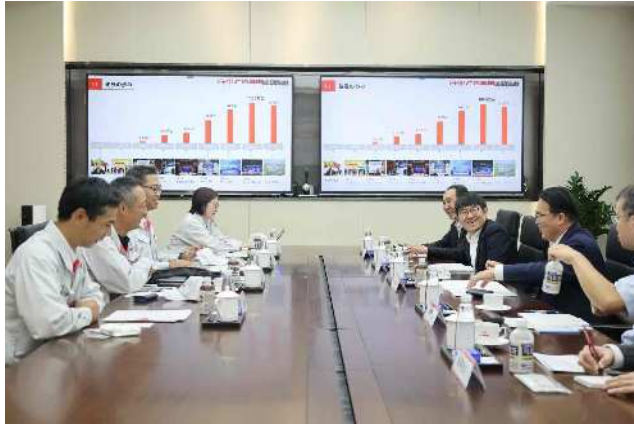
<广汽トヨタ自動車有限会社概要>

(1) 所在地 広東省広州市

(2) 設立 2004 年 9 月

(3) 事業内容等

カムリ、レビン、ハイランダー等、中国市場向け自動車の企画・開発（一部）・生産・販売を行う。



藤原総経理との面談の様子



藤原総経理（左）と
文執行副総経理（右）との記念品交換



藤原総経理との記念撮影
(後ろはトヨタのBEVのbZ4X)



出席者の皆さんとの記念撮影
(左から4人目が藤原総経理、
6人目が文執行副総経理)

2 フェアウェイ溪流背坡村キャンパス訪問 シリウベイボヴィレッジ (担当：国際課、産業立地通商課)

(1) 日時

2024年10月17日（木）午後2時から午後5時40分まで
(日本時間10月17日（木）午後3時から午後6時40分まで)

(2) 場所

フェアウェイ溪流背坡村キャンパス（東莞市）

(3) 応対者

トニー・ボウ 華為技術有限公司（フェアウェイ） 副総裁
ほうたお 侯涛 華為技術日本株式会社（フェアウェイ・ジャパン） 代表取締役社長
りんしょう 林嘯 華為技術日本株式会社（同上） 専務執行役員渉外・広報本部本部長
ゆやん 于洋 華為技術日本株式会社（同上） サステナビリティ推進部部長

(4) 愛知県側出席者

大村秀章知事

(5) 内容

大村知事は、深圳市に本社を置く華為技術有限公司の研究開発拠点であるファーウェイ溪流背坡村キャンパス（以下「キャンパス」という。）を訪問しました。

最初に、キャンパス内の展示ホールにおいて、同社の5Gや光ファイバー、AI等の技術の、スマートシティ、製造業、港湾業務など様々な分野への活用や、継続的な発展を支える基礎研究について説明を受けました。その後、ヨーロッパの街並みを模した研究棟や研修施設などが立ち並ぶキャンパス内を視察しました。

続いて、ボウ副総裁と面談をし、ボウ副総裁から、5Gや光通信などの「ICTインフラ」、スマートフォンなどの「端末事業」、デジタルパワー、クラウドの4つの主力事業について説明がありました。

大村知事からは、広東省にはトヨタ自動車を始めとする多くの愛知県企業が進出し活発にビジネスを行っており、愛知県と広東省は2013年に友好交流と協力関係の覚書を締結し、2019年にこれを発展させて友好提携を締結したことに基づき、高校生や大学間の交流、観光、イノベーションの創出など、様々な分野で更に協力を進めていくことを紹介しました。

また大村知事から、「2025年6月に愛知県で開催される国際的な産業展『AXIA EXPO 2025』において、アジア諸国の企業や都市・政府などに出展いただくための『アジアパビリオン』というブースを開設するので、参加いただけるとありがたい。」とPRしたところ、同席の華為技術日本株式会社の侯社長は、「前向きに検討したい。」と応じました。

<ファーウェイ溪流背坡村キャンパス概要>

欧州の12都市の街並みを模して造られたファーウェイの研究開発拠点。
敷地面積は、約150ヘクタールで、3万人の研究開発人員が働いている。



キャンパス内視察の様子①
(デジタル展示ホールにて)



キャンパス内視察の様子②



キャンパス内視察の様子③



キャンパス内視察の様子④



キャンパス内視察の様子⑤
(図書館にて)



ボウ副総裁との面談の様子



ボウ副総裁との記念品交換



出席者の皆さんとの記念撮影
(右から3人目がボウ副総裁)